

モノづくりマネジメント技術革新

参加のお勧め

近年のモノづくりはこれまでのように供給側が考える高品質、高信頼性を追求するにとどまらず、顧客が想定する以上の価値を提供し、感動を与える品質づくりが求められております。お客様の要求にこたえるためには技術力の蓄積が重要であり、ベース技術を磨き、積み重ねる活動を愚直に実施継続することが肝要と考えます。

今回はそのような厳しい状況下において、まさしくお客様のニーズを先取りし、成功された取り組み事例を「ものづくり大賞」受賞項目から選びシンポジウムを企画しました。

1 部として、常識を覆す逆転発想からレアメタルを大幅に削減した次世代汎用ステンレス鋼を実用化された新日鐵住金ステンレス株式会社様、そして2 部は工程計画の早期段階におけるカイゼンの前倒しを可能にするシステムを開発された株式会社レクサー・リサーチ様にご講演いただきます。今後のモノづくりを考える上で是非ヒントをつかんでいただきたいと思います。

講演の後は、広島大学 大学院工学研究科の高橋教授と講演者とのパネルディスカッション、そして参加者との総合質疑応答を行い、より実りのあるシンポジウムにしたいと計画しておりますので、多数のご参加をお願いいたします。

日 時 : 平成24年10月24日(水) 13時30分～17時00分

会 場 : 広島商工会議所 1階 101会議室
広島市中区基町5-44 TEL (082) 222-6610(代表)

主 催 : 中国地区品質経営協会

■ プログラム

時 間	内 容
13:30~13:35	開会挨拶 中国地区品質経営協会
13:35~14:40	講 演 「レアメタルを画期的に削減し錫を微量添加した 次世代汎用ステンレス鋼の開発」 新日鐵住金ステンレス株式会社 研究センター 上席研究員 秦野 正治 氏
14:40~14:55	－ 休憩(15分)－
14:55~16:00	講 演 「パソコン上で生産活動のカイゼンを行う世界初の システム開発」 株式会社レクサー・リサーチ 代表取締役 中村 昌弘 氏
16:00~16:15	－ 休憩(15分)－
16:15~16:55	パネルディスカッション・総合質疑応答 コーディネーター 広島大学 大学院工学研究科 教 授 高橋 勝彦 氏
16:55~17:00	閉会挨拶 中国地区品質経営協会

■ 講演概要

「レアメタルを画期的に削減し錫を微量添加した次世代汎用ステンレス鋼の開発」

ステンレス鋼の構成元素である Ni や Cr は我が国においてレアメタルに指定されている。
近年、レアメタルの産業における重要性は日増しに高まりを見せており、ステンレス鋼においても Ni や Cr を削減した鋼を開発し、その利用を推進していくことが社会的な要請と言える。
本講演では、微量錫添加という前例のないアプローチによって Ni に加えて Cr を削減したステンレス鋼(NSSC FW シリーズ)を開発・実用化した、NSSC の省資源型ステンレス鋼開発への取組みと、FW シリーズの開発に至る経緯及びその技術的背景についてご紹介させて頂く。

□講 師 秦野 正治氏

新日鐵住金ステンレス株式会社 研究センター 上席研究員

[略 歴] 1995年 早稲田大学大学院理工学研究科 材料工学専攻 修了
1995年 住友金属工業(株) 総合技術研究所 入社
2003年 新日鐵住金ステンレス(株) 研究センター 転籍
2005年 博士(工学)取得, 早稲田大学
2011年 同研究センター 上席研究員 現在に至る
2012年 第4回ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞受賞

■ 講演概要

「パソコン上で生産活動のカイゼンを行う世界初のシステム開発」

レクサー・リサーチは、独自の研究開発を通じて生産準備向けの技術開発を行っているが、その成果のひとつとして、生産ラインをPC上に仮想的に構築し、その中で生産活動の「カイゼン」を行うことができるシステムを開発した。

ここでは、仮想的に構築した生産ラインで検証を行うことで、実際の生産ラインを用いることなく、効率よくカイゼンすることを可能とした。

本システムを採用した大手メーカ等では、生産性の大幅な向上や 生産コスト・製造期間の短縮を実現し、ものづくり経営の革新に貢献している。

本公演では、第4回「ものづくり日本大賞」を受賞したこれらのレクサー・リサーチ技術について、研究開発・実用化の背景を交えて紹介する。

□講師 中村 昌弘 氏

株式会社レクサー・リサーチ 代表取締役（工学博士）

[略 歴] 1983年 大阪大学大学院工学研究科生産科学専攻終了
 1983年 (株)小松製作所入社、生産技術研究所 配属
 1993年 (株)レクサー・リサーチ設立、代表取締役就任 現在に至る
 2012年 第4回ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞受賞

■ パネルディスカッション・総合質疑応答

□コーディネーター 高橋 勝彦 氏

広島大学 大学院工学研究科 教授(工学博士)

[略 歴] 1988年 早稲田大学大学院理工学研究科機械工学専攻 修了
 1986年 早稲田大学理工学部助手
 1989年 広島県立大学経営学部経営情報学科講師
 1989年 広島県立大学経営学部経営情報学科助教授
 1994年 広島大学工学部助教授
 2001年 広島大学大学院工学研究科助教授
 2003年 広島大学大学院工学研究科教授 現在に至る

[現 職] デミング賞委員、日本経営工学会理事・中国四国支部監事、日本生産管理学会理事、日本スケジューリング学会理事、青山学院大学客員研究員、日本能率協会中国四国地区評議員会副議長、他

[専門分野] 経営工学、中でも生産管理

[業 種] 製造業

■ 会場案内



- J R 広島駅から電車またはバス
- ・バス停：市民球場前
 - ・バス停：広島バスセンター
 - ・電停：広島電鉄 原爆ドーム前
- アストラムライン：県庁前

広島商工会議所 1階 101会議室
 広島市中区基町5-44
 TEL (082)222-6610(代表)

■ 参加要領

【定員】150名

【参加費】会員会社 無料 (非会員会社 3,000円/一人)

【申込締切日】平成24年10月12日(金)

【申込方法】申込用紙に必要事項を記入の上、郵送、FAXまたはEメールで申込み下さい。

キリトリ

シンポジウム「モノづくりマネジメント技術革新」参加申込書

申込先：中国地区品質経営協会 行

TEL (082)532-6844

FAX (082)532-6845

〒733-0011 広島市西区横川町3丁目5番9号 (世良ビル404号)

e-mail; qmac@a1.mbn.or.jp

URL; http://qmac.jp/

会社名	申込責任者: TEL: e-mail:
住所(〒)	
参加者名	所属・役職
参加者 (計 名)	受付確認連絡 必要 ・ 不要
参加費 (計 円)	請求書発行 必要 ・ 不要

※ご記入頂いた企業・組織および個人情報、参加申込受付処理並びに当協会からのセミナーや行事のご案内のために使用します。